

山名	宮之浦岳 (鹿児島県屋久島) 1936m	山行名	個人山行
ルート	淀川登山口⇄宮之浦岳 (往路復路)		
山行日	2018年 5月 5日 (土)	天候	快晴
参加者	リーダー: 若林		

ルート概略図 	コースタイム 淀川登山口からの工程表			
	地名	時:分	地名	時:分
淀川登山口	発 07:05	宮之浦岳	発 12:45	
淀川小屋	着 07:45	投石平	着 14:15	
	発 07:55		発 14:20	
花之江河	着 09:15	花之江河	着 15:00	
	発 09:25		発 15:05	
投石平	着 10:10	淀川小屋	着 16:20	
	発 10:20		発 16:35	
宮之浦岳頂上	着 12:00	淀川登山口	着 17:15	
	昼食			

5月3日鹿児島港 8時30分発 12時30分屋久島宮之浦港着(フェリー移動)事前に港近くの民宿を予約していたので荷物整理も含めてチェックイン後 シュノーケリングかダイビング計画も4日までは風が強く白波が立ちダイビング船も出船せず諦めて4日は白谷雲水峡(もののけ姫の舞台)に足を運ぶ屋久島自然遺産は島の21%だけでその一角に白谷雲水峡は存在。 関西の赤目48滝と遜色なかったが杉の古木には苔が茂り圧倒された。

最近枯れた杉から新たな命が蘇る杉の世代交代が島の中で盛んにおこなわれている感じ。時間も有り島内見学(一周 103km)干潮時にのみ入浴できる平内海中温泉にも入ることが出来た。夜は近場の居酒屋で明日への英気を養う。5日風も収まり昨夜に続き快晴 5:00am 民宿出発淀川登山口まで90分要す事は事前の調査不足で有った。6時30分到着準備完了後7時05分出発 世界自然遺産認定の地だけに登山道路は整備されており、個人山行でも道に迷う箇所は無い程良く整備されていた。片道 8.0km 久しぶりの長距離を満喫? でも往復16kmは少し骨身にこたえた。登山中 お猿様 鹿様にご挨拶 宮之浦岳の頂上に12時00分到着 5月4日はかなりの登山客も今日5日は頂上には20名程でゆっくりと昼食をとる事が出来た。360度の大自然は下山したくない眺望であり周りの島々を眼下に 北へ遠く離れた(75km)薩摩半島の開聞岳まで望む事が出来た。年に数回の天候との登山者大半の意見であった。

登りは鹿児島県の職員と下山時は広島県庄原市の先生とフェリー内では32歳の青年と山談議に花が咲きつかの間の疲労感から解放された。宮之浦岳には至る所にヤクシマシクナゲが群生もつぼみ前で開花は5/末 残念であった。

今回の登山において良き点 予備日を設けた事 雨対策が万全であった事(ツェルトも持参 備えあれば お陰で晴天に恵まれた)

反省点 屋久島には沢山民宿があり登山口に近い民宿の予約が望ましい。今回民宿の宮之浦から淀川登山口までの移動時間90分を要し余裕ある行動を考えるべきであった。あと一日余裕あれば新高塚小屋に一泊して縄文杉迄足を延ばすことも出来たが、今回の屋久島訪問の目的は宮之浦岳登山故に個人的には満足も、今後宮之浦岳登山を計画される方は新高塚小屋泊もお勧め。 民宿は食事なしで一泊 3,000円 二泊目 2,850円でした。



宮之浦岳頂上



宮之浦岳頂上を望む